

第1章 道路交通安全

第1節 交通事故の現状と交通安全計画の基本目標

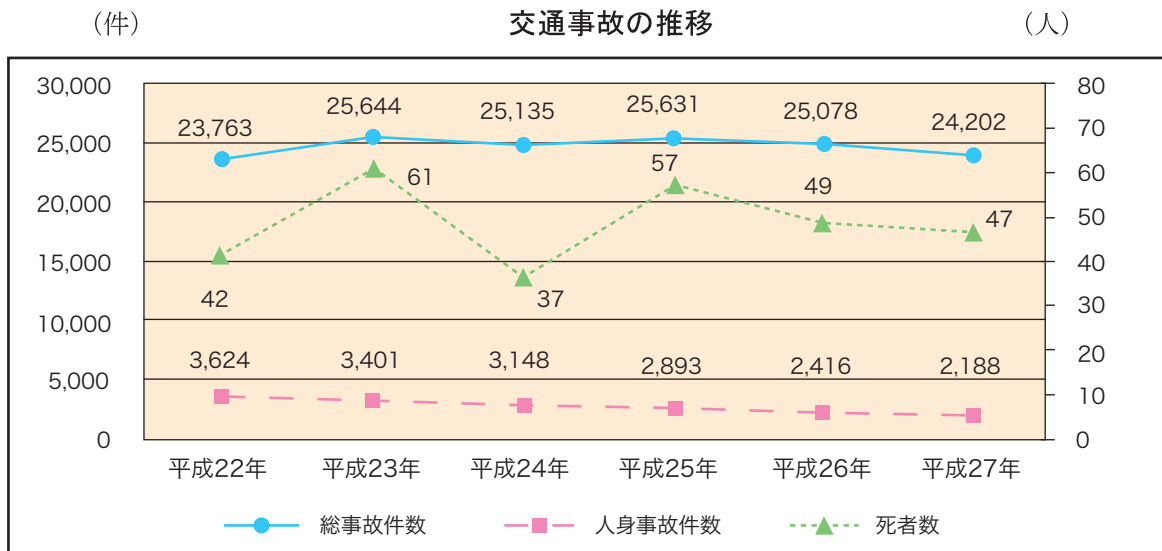
1 交通事故の現状

県内の道路交通事故は、昭和46年に人身事故件数6,529件、死者数175人、負傷者数9,401人とピークに達したものの、その後の交通安全対策の推進により減少傾向にあります。

平成23年度からの第9次福井県交通安全計画では、「交通事故死者数を35人以下とする。人身事故の減少の定着化を図る。」を基本目標に掲げましたが、交通事故死者数は平成24年には37人にまで減少したものの、計画期間中に目標を達成することはできませんでした。しかし、人身事故件数については、平成17年から継続して減少し、人身事故の減少の定着化を図るという目標は達成しました。

なお、平成27年の人身事故件数は2,188件と、昭和38年以来の低い水準になりました。

一方、平成27年の交通事故状況を人口10万人当たりで全国と比較してみると、人身事故件数は、全国平均が422.5件に対して本県は277.1件と少ないですが、交通事故死者数は、全国が3.16人に対して本県は5.70人と多い状況にあります。



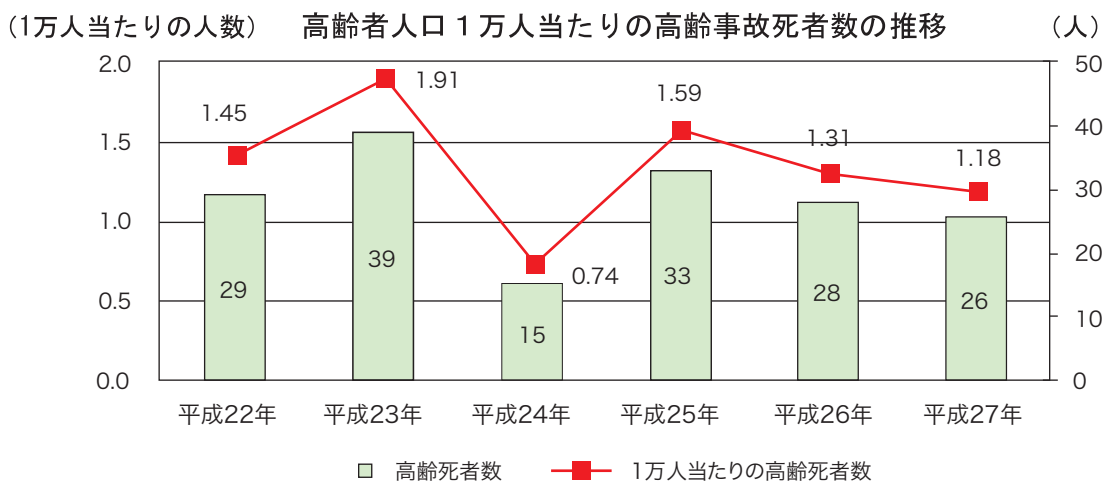
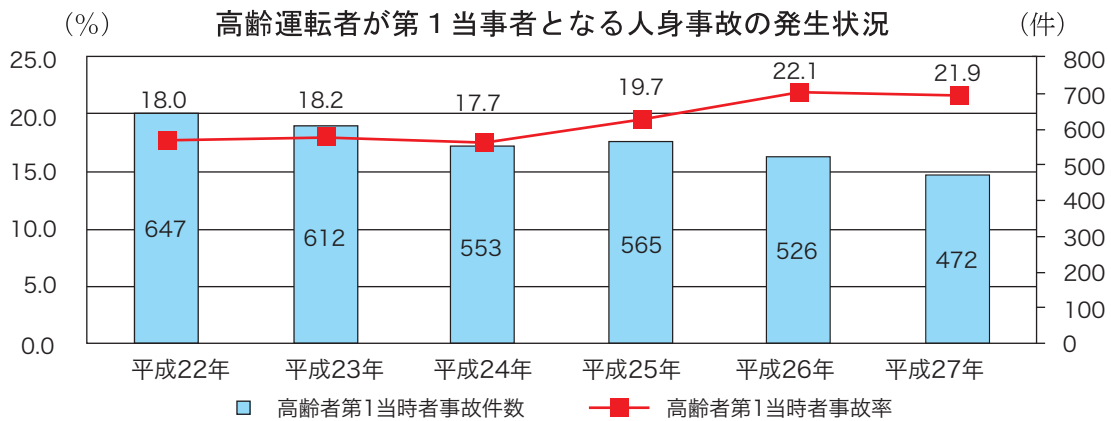
本県の人口10万人当たりの死者数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
人口10万人当たりの死者数(人)	5.08	7.19	4.48	6.88	6.17	5.70
全国ワースト順位	22	2	17	1	2	5

2 交通事故の分析

(1) 交通事故の特徴（平成23年～平成27年）

- ア 高齢運転者が第1当事者となる人身事故率が高い
（平成26年 22.1%、平成27年 21.9% 全国ワースト16位）
- イ 高齢者人口1万人当たりの高齢事故死者数が多い
（平成26年 1.31人、平成27年 1.18人 全国ワースト7位）
- ウ 全死傷者数に占める子どもの割合が低い
（平成26年 4.42%、平成27年 3.86% 全国ワースト45位）
- エ 人身事故件数に占める死亡事故率が高い
（平成26年 2.028%、平成27年 2.057% 全国ワースト3位）
- オ 安全運転義務違反に起因する人身事故の減少率が小さい（H22との比較）
（平成27年 安全運転義務違反 62.2%、無謀運転 56.8%）



高齢者人口1万人当たりの高齢事故死者数

	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
ワースト順位	8	1	33	1	2	7

3 交通安全計画の基本目標

- 平成32年までに交通事故死者数を年間35人以下とする。
- 人身事故の減少の定着化を図る。

(1) 交通事故死者数

「平成32年までに年間の交通事故死者数を2,500人以下とし、世界一安全な道路交通を実現する」という国の目標を踏まえつつ、本県の現状を考慮し、本計画において、平成32年までに年間の交通事故死者数を35人以下に設定します。

(2) 人身事故

交通事故死者数の減少はもとより、交通事故そのものの減少に一層取り組むことが必要であるため、引き続き人身事故の減少を定着化させることを目指します。

この目標達成に向け、県、警察、地方行政機関および市町は、県民・関係機関・団体と協働してこの計画に掲げた諸施策を総合的かつ効果的に推進します。

【参考】 これまでの各交通安全計画期間の平均死者数等の推移

